

離職者訓練「電気設備科」修了生と採用企業の声

山光電設工業株式会社

上原 通弘 さん(平成23年8月末修了)

代表取締役 三村 恒夫 様

ー 仕事は大変ですが、上司・先輩にも恵まれ

訓練で培ったものを契機にして頑張っています。ー

【上原 通弘さん(平成22年9月修了生)】

私は、平成23年2月から7ヶ月間、ポリテクセンター広島で「電気設備科」を受講しました。

同科では仲間にも恵まれ、お互いに勉強することができ、有意義な日々を過ごすことができました。主だった訓練は電気理論・工事施工法及びシーケンス制御です。

同科では、1ヶ月程度の企業実習があり、施設内でその基礎を学んで企業実習に臨みました。

実習先は、今勤めている山光電設工業株式会社です。

山光電設株式会社での現場業務(照明機器の点検や保全など)は、先輩に教わりながら、毎日が勉強の連続です。事務所では、書類の作成やCADで施工図面を作成しています。

訓練を受ける前は電気の知識は、全くなかったのですが、訓練を受けて電気が理解できるようになり、電気工事士の資格取得し、仕事に反映させることができました。次のステップとして、一人で仕事ができるようにしたいと考えて、毎日の業務に早く慣れると同時に、新たな仕事や資格へ向けて積極的に頑張っていこうと思っています。



作業する上原さん

— まだ見習いの域ですが、一人で任せることが多くなってきました。 —

山光電設工業株式会社
代表取締役 三村 恒夫さん

【会社の業務内容】

当社は、かつて建築物(店舗や学校)の照明器具取付けの電気工事施工をしていました。現在もこのような仕事はありますが、街路灯やトンネルの照明機器の取付け・点検及び保守などを主にやっています。また仕事の関係上、公共工事が多くなり、現場作業よりも現場管理者を担当することが多くなりました。今後、当社は現場管理者を育成する方向で進んでいくつもりです。

【修了生の採用にあたって】

企業実習生の受け入れ時、紙面だけの判断ではありますが、実習終了後は積極的に採用したいという思いはあまり持っていませんでした。しかし、実習が始まるとその考えは払拭されました。つまり上原さんのやる気が随所に感じられました。例えば、朝は早く来て一人で事務所内の掃除やゴミ出しをしていたり、本来の目的である現場での実習も積極的に取り組んでいるとの連絡があり、加えて性格も明るく、コミュニケーションもとれていたからです。

【修了生の今の仕事について】

まだ見習いとして、先輩と同行して現場の業務を実施しています。しかし、二度ほど現場管理者を一人で任せたことがあります。問題なく業務を終えることができました。

【今後に期待するもの】

官公庁の仕事が増えているのでそれに対応できる人材に成長していくためには、基礎的な技能が身についているうえ、電気工事士の資格を取得しているのでさらに経験を積んでいくと同時に関連の資格取得に向けて頑張りたい。